

高次脳機能障害のある方への合理的配慮

高次脳機能障害とは

脳出血や脳梗塞、くも膜下出血、事故による頭部外傷、脳腫瘍の後遺症などによって日常生活に制限がある状態をいいます。脳の損傷の程度によってさまざまですが、古い記憶は残っているのに新しいことが覚えにくい、注意力や集中力が低下するなどの症状があります。

高次脳機能障害のある方への合理的配慮の事例

簡潔に作業手順を示し、 本人の負担に応じ業務量などを調整

業務指示をメモにして毎回作業前に確認してもらったり、写真で作業手順を示したりする配慮や、本人の様子を見ながら業務量を調整するといった配慮が必要です。

こんなことをやっています！

- 業務指示のメモを用意しているが、メモを受け取ったことも忘れてしまうことがあるため、同じメモを複数用意して、すぐに同じ指示を出せるようにしている。
- 作業をわかりやすく単純な形に再編し、その上で本人の状況に応じて業務量を徐々に増やしていった。